

# 始良・伊佐地域 感染症情報

2018年第41週報 (10月8日～10月14日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：平成30年10月17日

## 今週のトピックス

ヘルパンギーナの報告数をみると始良保健所は、前週の2.86から今週は1.29へと減少し、大口径保健所も前週の2.00から今週は0.00へと減少しました。しかし、県内では前々週(39週報)から増加傾向にありますので、今後の発生動向には注意が必要です。

## 注目情報

—首都圏を中心に全国的に風しん患者増加—

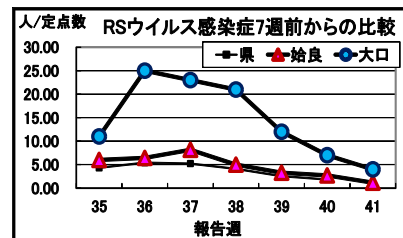
8月末から首都圏を中心に風しん患者が増加していますが、国立感染症研究所には第40週1週間(10月10日現在)で151人の報告があり、今年の累積報告数は全国で1,103人となりました。報告された風しん患者は過去に感染したことが無く、ワクチン未接種の風しん抗体を保有していない人で、30才代～50才代男性が中心となっています。

風しんはワクチン接種により予防可能な感染症です。妊婦さんと赤ちゃんを守るために成人男性も風しんの予防接種を検討しましょう。参照：国立感染研HP( <https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/700-idsc/5544-rubella-poster2015.html> )

### ☆今週の主な感染症の動向

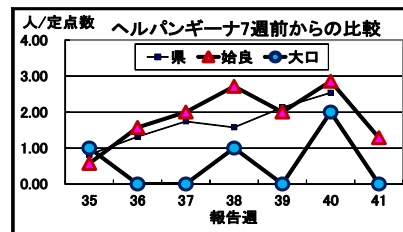
#### ・RSウイルス感染症

始良保健所管内のRSウイルス感染症の報告数は、8人(定点当たり1.14)で、前週より11人減少しました。また、大口径保健所管内の報告数は4人(定点当たり4.00)で、前週より3人減少しました。



#### ・ヘルパンギーナ

始良保健所管内のヘルパンギーナの報告数は、9人(定点当たり1.29)で、前週より11人減少しました。また、大口径保健所管内の報告数は0人で、前週より2人減少しました。



### ☆ 始良・伊佐地域の指定届出医療機関からの定点当たり報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	始良保健所管内推移				大口径保健所管内推移				県全体
	開始基準値	終息基準値		38週	39週	40週	41週	38週	39週	40週	41週	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.05
RSウイルス感染症	—	—	—	5.00	3.29	2.71	1.14	21.00	12.00	7.00	4.00	1.83
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	2.14	1.29	3.43	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	1.41
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	1.29	1.29	1.71	1.43	2.00	0.00	1.00	1.00	2.06
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	6.00	8.00	6.00	5.71	1.00	0.00	0.00	0.00	4.31
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.29	0.29	1.00	0.00	0.00	0.00	0.26
手足口病	5.00	2.00	—	0.43	0.14	0.14	0.14	0.00	3.00	0.00	0.00	0.26
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	0.00	0.14	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
突発性発しん	—	—	—	0.86	1.14	1.00	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.59
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	2.71	2.00	2.86	1.29	1.00	0.00	2.00	0.00	2.54
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.43	0.57	0.71	0.14	1.00	1.00	0.00	0.00	0.41
出血性結膜炎	1.00	0.10	—	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	8.00	4.00	—	0.00	4.00	0.00	0.00					3.00

※ 警報・注意報の「—」は対象としないことを意味します。  
 ※ 警報域…太文字で赤色の網掛け部分、注意報域…斜体文字で黄色の網掛け部分